

国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術公募プログラムQ&A

目次

1 公演の実施期間及び会場について

- Q1. 公演日数は複数日でもよいか。
- Q2. 実施場所は複数ヵ所希望できるのか。
- Q3. 仕込み・リハーサルを別日に実施することはできるか。
- Q4. 会場の時間外利用はできるのか。
- Q5. 国際芸術祭「あいち」組織委員会が開催する会場下見日以外で、下見をすることはできるか。

2 募集分野及び対象者について

- Q1. プロが応募してもよいか。
- Q2. NPO法人や会社は、団体として応募できるか。
- Q3. 募集要項2(2)にある「自ら創作・実演活動を行っている団体又は個人」とは、どういうことか。
- Q4. 応募者の住所が愛知県外の場合は対象となるか。また、応募者の住所が愛知県内で、主な活動場所が愛知県外の場合は対象となるか。
- Q5. ゲストを他県から招へいすることは可能か。
- Q6. 他の団体から助成を受けているような場合でも応募可能か。
- Q7. 公募プログラムでの実施が決定した公演について、愛知県文化活動事業費補助金に申請してもよいか。
- Q8. 同時期に開催される予定の「名古屋市民芸術祭参加公演」にも応募してよいか。
- Q9. 募集要項2(2)にある「『あいちトリエンナーレ2019』を起点に、2回連続で公演した団体・個人は、次回の公募プログラムに応募できないものとする。」とは、具体的にどういうことか。
- Q10. 過去にどのような団体が公募プログラムで公演したのか。

3 審査及び審査基準について

- Q1. 国際芸術祭「あいち2022」のテーマ・コンセプトを詳しく知りたい。
- Q2. 審査基準の1つに「新規性、チャレンジ性を有した企画であるかどうか」とあるが、新作でないといけないのか。
- Q3. 主な活動実績がないと応募できないのか。
- Q4. 別記様式2「収支予算書」の「自己負担額」の有無が、評価に影響あるのか。
- Q5. 入場料の上限額の設定について。
- Q6. 1公演あたりの公演時間に制限はあるのか。
- Q7. 審査会は公開されるか。

4 経費補助について

- Q1. 附属設備の利用料は、どこまで国際芸術祭「あいち」組織委員会が負担するのか。
- Q2. 募集要項4にある「附属設備利用料の2分の1を負担」の自己負担分は、どこにいつ支払うのか。
- Q3. 新型コロナウイルス感染症拡大により、公演が実現しなかった場合の経費補助はどうなるのか。

5 提出書類について

- Q1. 1団体・個人が企画書を複数提出してもよいか。団体名が違う場合はどうか。
- Q2. 別記様式2「収支予算書」は、どこまで詳細に記載したらよいか。
- Q3. 別記様式2「収支予算書」にある「会場費 附属設備費」欄には何を書けばよいか。
- Q4. 公演で利用するホール及びリハーサル室の附属設備利用料は、会場に見積を出してもらった方がよいか。
- Q5. 企業等からの協賛金や助成金は予定通りにならない場合もあるが、別記様式2「収支予算書」の「負担金、助成金等」欄への記載は、現時点の予定でよいか。
- Q6. 「収支決算書」は提出する必要があるのか。
- Q7. 個人が集まって構成した団体で、団体としてはあまり実績がないが個々では実績を積んでいる場合、企画書の活動実績等はどのように記載すればよいか。
- Q8. 出演者が、まだ確定してない場合の「出演者名簿」はどうしたらよいか。
- Q9. 選考後の内容変更はどこまで許されるのか。
- Q10. 募集要項7(3)オにある「その他活動実績をアピールする書類または映像」は、チラシやCD・DVDを提出してもよいか。
- Q11. 映像資料をYoutubeにアップする詳しい方法を知りたい。
- Q12. 事前に申請書を見てくれるか。

6 共催及び企画内容等について

- Q1. 募集要項9(2)にある「企画内容の変更をお願いすることがある」とは具体的にどのようなものか。
- Q2. 募集要項1にある「会場の利用等に係る手続きは、愛知県芸術劇場「利用のご案内」を熟読の上、各団体等が自ら行うこと」とは具体的にどういうことか。
- Q3. 舞台の技術スタッフや表周りスタッフは、実施団体が手配しなければならないのか。
- Q4. チケットの販売は国際芸術祭「あいち」組織委員会で行うのか。
- Q5. チラシは公演者が作成するのか。
- Q6. 公募プログラムの公演をツアーとして他会場でも実施する場合、公募プログラムの公演である旨をチラシ等に明記する必要があるか。
- Q7. CD・グッズなどの販売に制限はあるのか。
- Q8. オンライン配信の企画は可能か。

1 公演の実施期間及び会場について

- Q1. 公演日数は複数日でもよいか。
A1. どの会場をご選択いただいても、1団体・個人につき公演日は1日となります。ただし、仕込みの要否などにもよりますが、調整がつけば、1日のうちに同じ内容の公演を複数回実施いただくことは可能です。集客等も考慮のうえご検討ください。
- Q2. 実施場所は複数ヵ所希望できるのか。
A2. 会場の希望はいずれか1ヵ所としてください。公演日については、コンサートホールは第2希望まで、小ホールは第5希望までお選びいただけます。
- Q3. 仕込み・リハーサルを別日に実施することはできるか。
A3. 会場確保の関係上、ご利用いただける日程は1団体・個人につき1日となります。前日の仕込みも実施できませんので、仕込み・リハーサルも含めて1日で完結できる企画のご提出をお願いします。
- Q4. 会場の時間外利用はできるのか。
A4. 時間外の会場利用は原則できません。愛知県芸術劇場が定める利用区分(9時～22時完全退館)内での利用をお願いします。
- Q5. 国際芸術祭「あいち」組織委員会が開催する会場下見日以外で、下見をすることはできるか。
A5. 個別の対応は出来かねますので、下記の日程での下見をお願いします。

【会場下見日時】

- ① 2021年10月12日(火)13時～15時 [小ホール]
- ② 2021年10月13日(水)10時～12時 [コンサートホール]

【申込フォーム】

https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=38130

〈申込締切：2021年10月10日(日)17:00〉

また、ホールの写真や図面は、愛知県芸術劇場のWebサイトからご確認いただけますので、参考にしてください。

期
間
・
会
場

対
象

審
査

経
費
補
助

提
出
書
類

共
催
・
企
画

2 募集分野及び対象者について

Q1. プロが応募してもよいか。 A1. プロ・アマは問いません。	期間・会場
Q2. NPO法人や会社は、団体として応募できるか。 A2. 募集要項の募集対象の要件を満たしていれば、ご応募いただけます。	
Q3. 募集要項2(2)にある「自ら創作・実演活動を行っている団体又は個人」とは、どういうことか。 A3. どこかの公演を買ってきて公演する場合は応募対象となりません。応募対象となる団体または個人自身が、創作活動または実演活動を行っていることが条件となります。	対象
Q4. 応募者の住所が愛知県外の場合は対象となるか。また、応募者の住所が愛知県内で、主な活動場所が愛知県外の場合は対象となるか。 A4. 今回企画する公演の出演者及び制作関係者(委託業者を除く)の半数以上が愛知県内在住者であれば、応募者本人が愛知県在住でなくても対象となります。ただし、主な活動場所が愛知県内である場合に限りです。また、応募者の住所が愛知県内であっても、主な活動場所が愛知県内でなければ応募の対象とはなりません。	
Q5. ゲストを他県から招へいすることは可能か。 A5. 募集対象の要件を満たし、かつ今回企画する公演の出演者及び制作関係者(委託業者を除く)の半数以上が愛知県内在住者であれば、県外からゲストを招へいすることは可能です。	審査
Q6. 他の団体から助成を受けているような場合でも応募可能か。 A6. 国際芸術祭「あいち」組織委員会が負担する経費との重複受給とならなければ、ご応募いただけます。助成等を受ける場合には、相手方の助成・補助内容等を十分にご確認ください。	
Q7. 公募プログラムでの実施が決定した公演について、愛知県文化活動事業費補助金に申請してもよいか。 A7. 申請していただくことは可能です。なお、申請方法等については、愛知県県民文化局文化部文化芸術課企画グループ(052-954-6184)へお問い合わせください。公募プログラムでの実施が決定した事業であることを申し出た上で、補助対象経費等確認のうえ申請していただくようお願いいたします。	経費補助
Q8. 同時期に開催される予定の「名古屋市民芸術祭参加公演」にも応募してよいか。 A8. 本事業での実施が決定した公演につきましては、「名古屋市民芸術祭参加公演」へ重複して応募いただいても構いません。また、その他の芸術祭への申請を検討している場合は、国際芸術祭「あいち」組織委員会へご相談ください。	
Q9. 募集要項2(2)にある「『あいちトリエンナーレ2019』を起点に、2回連続で公演した団体・個人は、次の公募プログラムに応募できないものとする。」とは、具体的にどういうことか。 A9. より多くの団体・個人の皆さまにご出演いただく機会をご提供できるよう、前回「あいちトリエンナーレ2019」と、今回「国際芸術祭『あいち2022』」の公募プログラムに連続で出演された場合は、次の国際芸術祭「あいち」の公募プログラムにご応募いただけません。 なお、「あいちトリエンナーレ2016」及び「あいちトリエンナーレ2019」に連続で出演された団体・個人は、今回の公募プログラムへの応募はできません。	提出書類
Q10. 過去にどのような団体が公募プログラムで公演したのか。 A10. 公式Webサイト「あいちトリエンナーレアーカイブ」〈 https://aichitriennale2010-2019.jp/ 〉から、過去の実施状況をご覧いただくことができます。「アーカイブ」ページに掲載の報告書を参照ください。なお、「あいちトリエンナーレ2010」、「あいちトリエンナーレ2013」において実施した「祝祭ウィーク」は、公募プログラムと同様の事業です。	
	共催・企画

3 審査及び審査基準について

- Q1. 国際芸術祭「あいち2022」のテーマ・コンセプトを詳しく知りたい。
- A1. テーマ・コンセプトについては、国際芸術祭「あいち2022」の公式Webサイト〈<https://aichitriennale.jp/>〉に掲載されておりますので、参考にしてください。
- Q2. 審査基準の1つに「新規性、チャレンジ性を有した企画であるかどうか」とあるが、新作でないといけないのか。
- A2. 新作でなくても構いません。新しい要素を盛り込む等、内容を充実させたものであれば、旧作の再演であっても申請いただけます。
- Q3. 主な活動実績がないと応募できないのか。
- A3. 自ら創作・実演活動を行っている方であれば応募の対象となります。審査基準に「積極的な活動実績(国際的又は全国的な活動実績、本県での活発な創作・実演活動の実績、受賞歴等)を有するかどうか」以外にも「将来性が期待できるものかどうか」を設けているため、主な活動実績の有無に関わらず、ご応募いただけます。
- Q4. 別記様式2「収支予算書」の「自己負担額」の有無が、評価に影響あるのか。
- A4. 自己負担額があること自体が評価に影響するわけではありません。ただし、自己負担額が高額過ぎる場合は実現可能な公演であるかどうか、また、逆に純利益が高額過ぎる場合についても適正かどうか、審査の判断材料とさせていただきます。
- Q5. 入場料の上限額の設定について。
- A5. 国際芸術祭「あいち」組織委員会が会場利用料等を負担する共催事業として、より多くの県民の方々にご覧いただくため、入場料は高額にならないようにしていただきたいと思います。入場料の金額設定についても、審査の判断材料とさせていただきます。
- Q6. 1公演あたりの公演時間に制限はあるのか。
- A6. 制限はありませんが、公演内容に見合った時間設定かどうかは審査の判断材料とさせていただきます。
- Q7. 審査会は公開されるか。
- A7. 審査は非公開となります。また、審査結果及び理由に関する個別のお問い合わせにはお答え致しかねます。

期
間
・
会
場

対
象

審
査

経
費
補
助

提
出
書
類

共
催
・
企
画

4 経費補助について

- Q1. 附属設備の利用料は、どこまで国際芸術祭「あいち」組織委員会が負担するのか。
- A1. 国際芸術祭「あいち」組織委員会では、公演日の附属設備利用料の2分の1を負担します。(残りの2分の1は公演者の負担となります。)
- 愛知県芸術劇場が設定する附属設備利用料は全て対象となりますが、附属設備の利用は必要最小限でお願いします。対象設備は以下のwebサイト(料金表)をご覧ください。
- なお、附属設備以外の設備に関しては以下のwebサイト(設備・仕様)からご確認いただき、記載のない設備につきましては、公演者ご自身で別途手配ください。その際の費用は公演者負担となります。
- 愛知芸術文化センターwebサイト
[愛知県芸術劇場を借りる] 料金表 <https://www.aac.pref.aichi.jp/rent/theater/royalty.html>
[愛知県芸術劇場を借りる] 設備・仕様 <https://www.aac.pref.aichi.jp/rent/theater/facility.html>
- Q2. 募集要項4にある「附属設備利用料の2分の1を負担」の自己負担分は、どこにいつ支払うのか。
- A2. 公演終了後に組織委員会から各団体へ請求書を郵送します。請求日の1ヶ月以内に、請求書に記載の口座へお振り込みください。
- Q3. 新型コロナウイルス感染症拡大により、公演が実現しなかった場合の経費補助はどうなるのか。
- A3. 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった場合の会場利用料やキャンセル料については、公演を実施しない場合も組織委員会が補助します。ただし、準備等にかかった費用は各公演者の負担となります。また、公演者都合による公演中止は原則認めらず、やむを得ない事情により中止する場合の会場キャンセル料も、各公演者の負担となりますのでご注意ください。

期
間
・
会
場

対
象

審
査

経
費
補
助

提
出
書
類

共
催
・
企
画

5 提出書類について

- Q1. 同じ団体・個人が企画書を複数提出してもよいか。団体名が違う場合はどうか。
- A1. 企画書の提出数は、原則1団体・個人につき1部とさせていただきます。ただし、複数の団体等と共催で実施することにより、他の共催団体等との組み合わせによって企画が異なる場合は、複数の企画書をご提出いただくことは可能です。なお、団体の出演者が実質同一となる場合には、企画書を1つに絞ってご提出ください。
- Q2. 別記様式2「収支予算書」は、どこまで詳細に記載したらよいか。
- A2. 別記様式2「収支予算書」は、選考の際に、企画の規模や実現可能性を確認するためにご提出をお願いしているものです。現時点で想定される経費の大枠をご記載いただければ問題ありませんが、ご記載いただいた内容について、お尋ねする場合があります。
- Q3. 別記様式2「収支予算書」にある「会場費 附属設備費」欄には何を書けばよいか。
- A3. 本事業で公演を実施するためのミーティング・練習・稽古等で利用する会場の利用料及び附属設備利用料、公演当日の附属設備利用料の2分の1(公演者ご自身にご負担いただく分)について、見込み金額をご記載ください。その際、国際芸術祭「あいち」組織委員会が負担する会場利用料(全額)及び附属設備利用料(2分の1)については、「会場費 附属設備費」欄に算入しないよう、ご注意ください。
- Q4. 公演で利用する附属設備利用料は、会場に見積を出してもらった方がよいか。
- A4. 見積を取る必要はありませんが、公演に必要な機材等を明確にした上で、各会場の定める附属設備利用料を参考に「会場費 附属設備費」欄へご記載ください。
- Q5. 企業等からの協賛金や助成金は予定通りにならない場合もあるが、別記様式2「収支予算書」の「負担金、助成金等」欄への記載は、現時点の予定でよいか。
- A5. 応募時点での予定をご記載ください。
- Q6. 「収支決算書」は提出する必要があるのか。
- A6. 公演実施が決定した団体につきましては、公演終了後に「実績報告書」をご提出いただきます。その中で収支の決算額についてご報告いただきます。
- Q7. 個人が集まって構成した団体で、団体としてはあまり実績がないが個々では実績を積んでいる場合、企画書の活動実績等はどのように記載すればよいか。
- A7. 別記様式1「国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術公募プログラム企画書」の「沿革及び主な活動実績」、「受賞歴」欄については、団体に関するものと個人に関するものの両方をご記載ください。個人の実績等については、誰の実績かが分かるようにご記載ください。
- Q8. 出演者が、まだ確定していない場合の「出演者名簿」はどうしたらよいか。
- A8. 別紙様式1には、出演予定者の名前等を記載ください。その際、出演予定である旨が分かるよう記載し、出演者が確定した後に再度出演者名簿をご提出ください。なお公演が決定した後でも、募集要項2(2)「出演者及び制作関係者の半数以上が愛知県内在住者であり、代表者及び所在地が明らかであること」に該当していない場合は、公演を取りやめていただく場合がありますので、ご注意ください。
- Q9. 選考後の内容変更はどこまで許されるのか。
- A9. 提出された企画に基づき、審査し決定した公演ですので、基本的には企画内容に変更が生じないようお願いいたします。ただし、やむを得ない事情等で公演内容、公演時間、公演数、リハーサル等を変更する場合、必ず、国際芸術祭「あいち」組織委員会に事前に連絡・届出をしていただき、選考委員の意見も伺ったうえで、変更を認めるかどうか決定させていただきます。当初の提出企画と全く異なる企画の実施はできませんので、ご承知おきください。

期
間
・
会
場

対
象

審
査

経
費
補
助

提
出
書
類

共
催
・
企
画

Q10. 募集要項 7 (3)オにある「その他活動実績をアピールする書類または映像」は、チラシやCD・DVDを提出してもよいか。

A10. チラシ・パンフレット等の紙媒体や、CD・DVD等の電子媒体の提出は、原則受け付けません。いずれも電子データでの提出をお願いします。

Q11. 映像資料をYoutubeにアップする詳しい方法を知りたい。

A11. 別紙「舞台芸術公募プログラム 映像資料アップロード方法」をご覧ください。

Q12. 事前に申請書を見てくれるか。

A12. 記載方法等についての問い合わせにはお答えしますが、申請書自体の事前確認は致しません。

期
間
・
会
場

対
象

審
査

経
費
補
助

提
出
書
類

共
催
・
企
画

6 共催及び企画内容等について

- Q1. 募集要項9(2)にある「企画内容の変更をお願いすることがある」とは具体的にどのようなものか。
- A1. 例えば、座席数の減、来場者と接触するような演出(声援・歓声を惹起する、出演者が客席に降りる、出演者が客席から登場する、来場者をステージに上げる等)、公演内容に合わせた客席と舞台の距離等の変更をお願いする場合があります。
- Q2. 募集要項1にある「会場の利用等に係る手続きは、愛知県芸術劇場『利用のご案内』を熟読の上、各団体等が自ら行うこと」とは具体的にどういうことか。
- A2. 会場や消防署へ多数の書類を提出するほか、会場との調整等、公演に必要な手続きをすべて公演者ご自身で行っていただきます。手続きの流れは「舞台芸術公募プログラム 募集要項」及び、各会場の利用案内を参照ください。
- Q3. 舞台の技術スタッフや表周りスタッフは、公演者が手配しなければならないのか。
- A3. 原則、公演者ご自身で手配した舞台技術スタッフと契約いただく必要があります。(手配が難しい場合は、紹介もできます。)また、表周りについても必要に応じて人員の手配をお願いします。会場によって必要な人員数は異なりますので、会場との利用打合せ時にご確認ください。
- Q4. チケットの販売は国際芸術祭「あいち」組織委員会で行うのか。
- A4. 国際芸術祭「あいち」組織委員会で、個々の公演のチケットは販売いたしません。販路の確保も含めて、公演者ご自身で対応していただきます。
- Q5. チラシは公演者が作成するのか。
- A5. 国際芸術祭「あいち」組織委員会としては、公募プログラム全体のチラシを作成いたします。それぞれの公演につきましては、必要に応じて実施団体にて作成してください。その際、チラシには必ず「国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術公募プログラム」の事業名称及び「共催事業」である旨の記載、本事業のロゴを貼付ください。
- また、全体チラシの作成以外に国際芸術祭「あいち」組織委員会が実施する広報は、公式Webサイトほか、SNSでの情報発信を予定しております。公演者におかれましても、積極的に公演の広報を行っていただきますようお願いいたします。
- Q6. 公募プログラムの公演をツアーとして他会場でも実施する場合、公募プログラムの公演である旨をチラシ等に明記する必要があるか。
- A6. ツアーに本事業の対象となる公演が含まれている場合、チラシの対象公演部分には「共催事業」である旨を明記してください。
- Q7. CD・グッズなどの販売に制限はあるのか。
- A7. 制限を設けることはいたしません。感染症拡大状況によっては、会場側が物販を制限している場合があります。愛知県芸術劇場のガイドライン等をご確認のうえ、利用規則の範囲内をお願いします。
- Q8. オンライン配信の企画は可能か。
- A8. 可能です。ただし、撮影は指定された公演日及び会場にて1日で行い、LIVE・録画にかかわらず配信は国際芸術祭「あいち2022」の期間内に配信を開始してください。また、配信に係る機材等の費用は自費となりますので、予めご了承ください。その他、NTTの開通工事等が必要となりますので、事前に会場へご相談ください。

期間
・
会場

対
象

審
査

経
費
補
助

提
出
書
類

共
催
・
企
画